



平成28年12月期

決算説明会資料

共同ピーアール株式会社

(JASDAQ:2436)

www.kyodo-pr.co.jp



連結業績要約

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
前期末累計	3,704	131	126	108
当期末累計	4,099	180	180	163
増減率	10.7%	37.6%	43.3%	51.2%

売上高 10.7%増加
1年ぶりに40億円台へ

経常利益 43.3%増加
2期連続増益

共同PRの業績

The financial highlight of KYODO PR



連結損益計算書要約

単位:百万円

	前期末累計 (売上高比率)	当期末累計 (売上高比率)	対前期比 (増減率)
売上高	3,704 (100%)	4,099 (100%)	395 (10.7%)
売上原価	1,385 (37.4%)	1,703 (41.5%)	318 (23.0%)
売上総利益	2,319 (62.6%)	2,396 (58.5%)	76 (3.3%)
販管費	2,188 (59.1%)	2,216 (54.1%)	27 (1.3%)
営業損益	131 (3.5%)	180 (4.4%)	49 (37.6%)
経常損益	126 (3.4%)	180 (4.4%)	54 (43.3%)
当期純損益	108 (2.9%)	163 (4.0%)	55 (51.2%)
連結1株当たり 純損益	87.87円	132.87円	45円
1株当たり 年間配当額	0.00円	0.00円	-

当期末売上高内訳

【リタイナー】

2,052百万円

(前期比 +3.1%)

【オプション・スポット】

1,827百万円

(前期比 +19.9%)

【ペイドパブ】

219百万円

(前期比 +16.0%)

当期末販管費内訳

【人件費】

1,790百万円

(前期比 +1.0%)

【販売費】

21百万円

(前期比 +110.0%)

【一般管理費】

404百万円

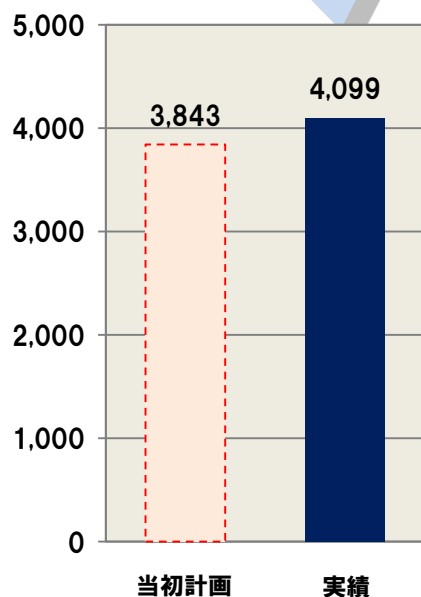
(前期比 ▲0.2%)

平成28年連結実績と計画値対比

単位:百万円

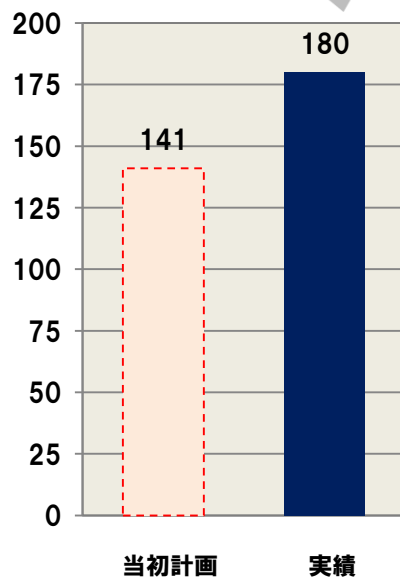
売上高

当初計画比 +256百万円



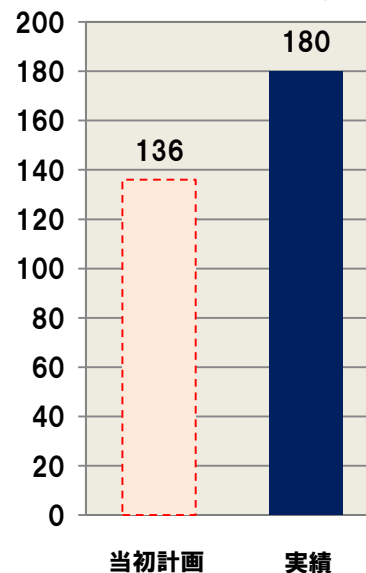
営業利益

当初計画比 +38百万円



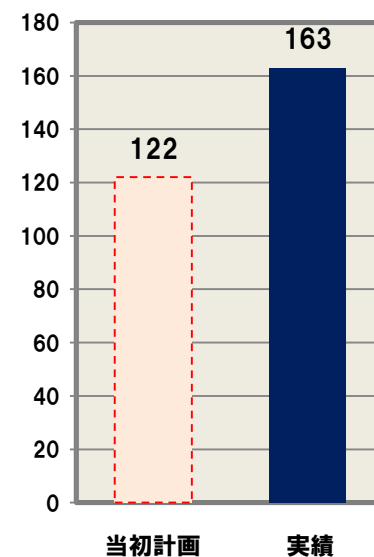
経常利益

当初計画比 +44百万円



当期純利益

当初計画比 +41百万円



※当初計画値:平成28年2月12日付決算短信に記載の業績予想値

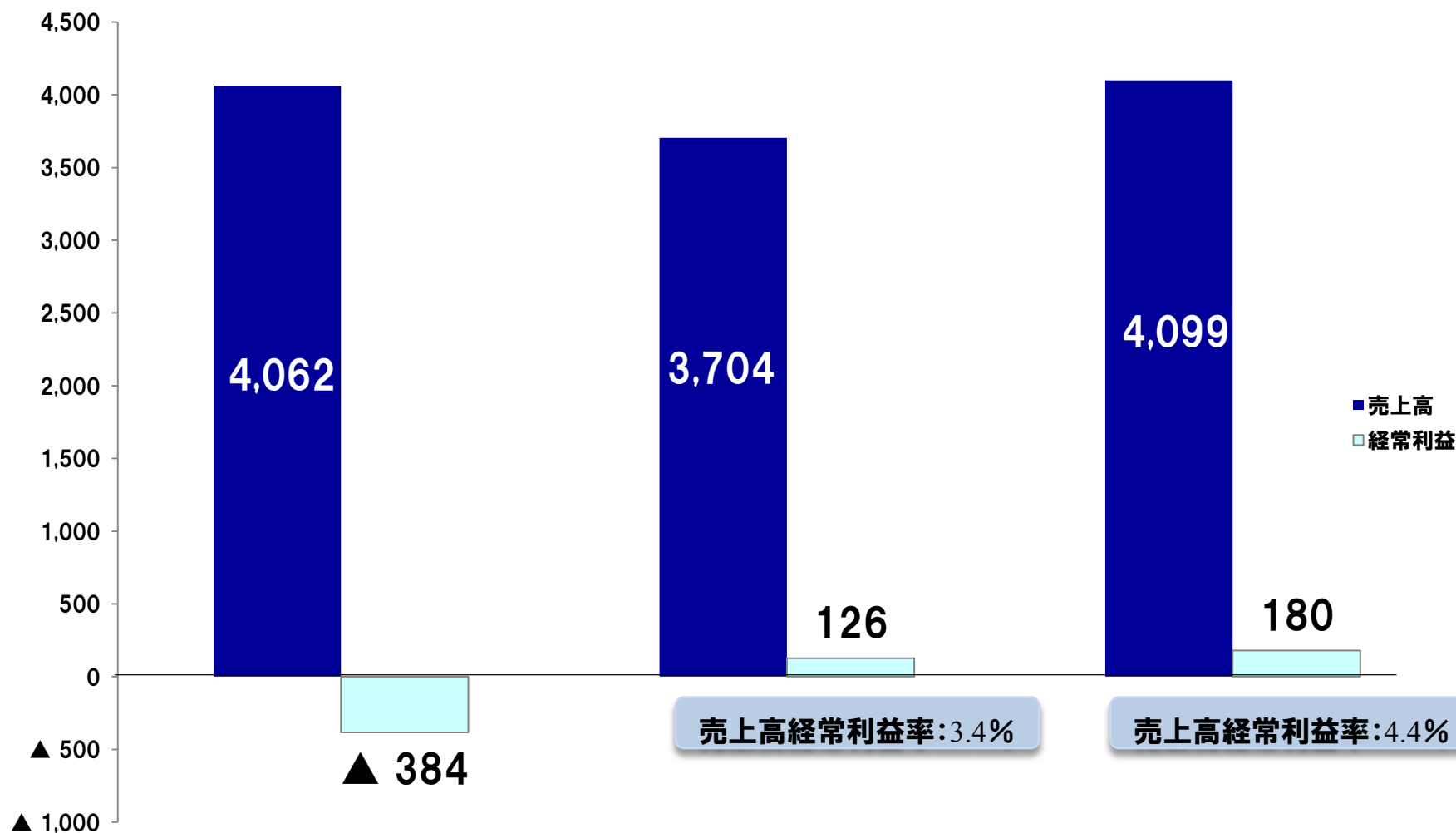
- 売上高・・・リタイナー契約単価が前年比増加
- 営業利益・経常利益・・・人材採用の減少や販売費・管理費見直しによる削減

連結売上高及び売上高経常利益率

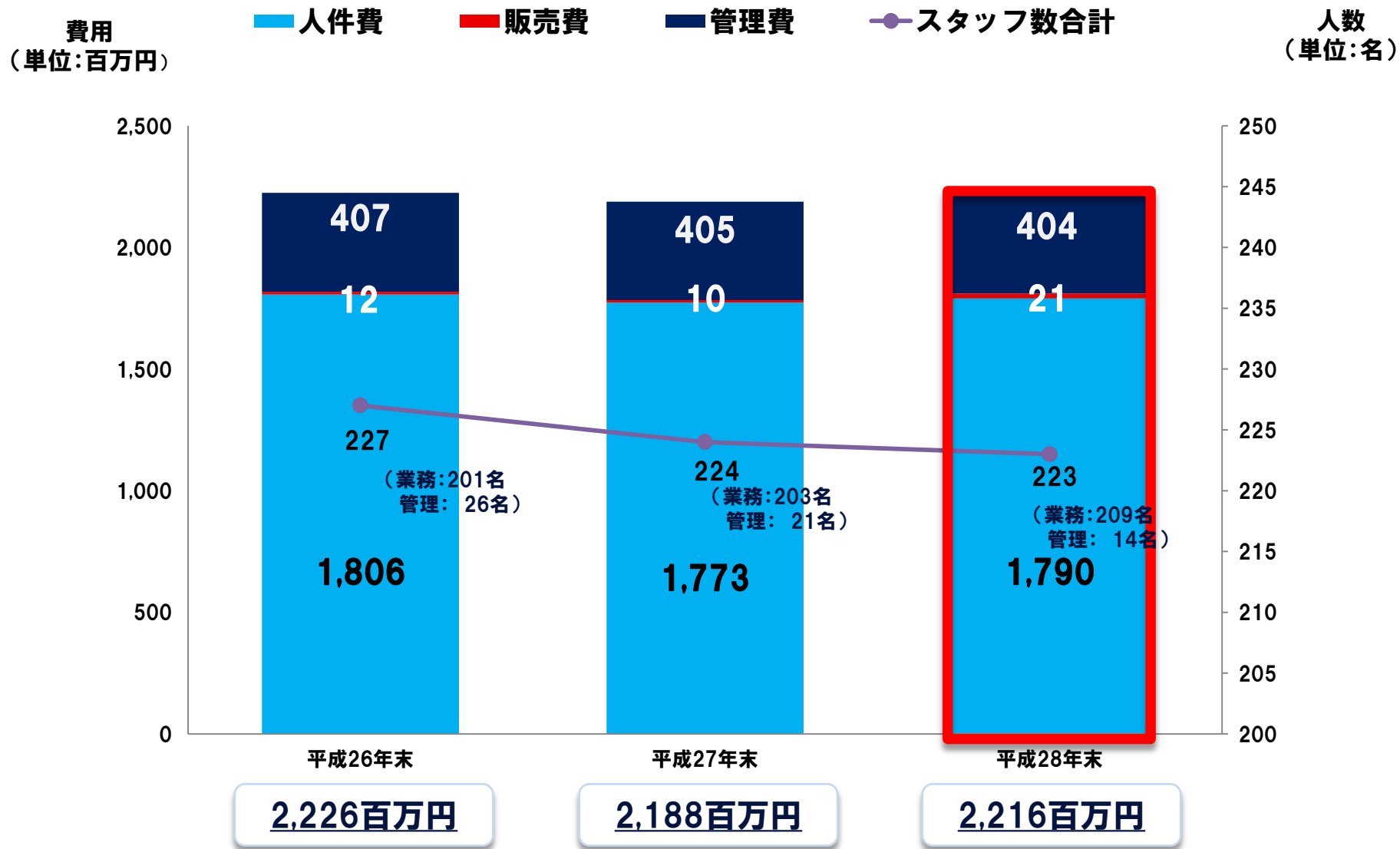
平成26年12月末

平成27年12月末

平成28年12月末



連結販売費及び一般管理費推移



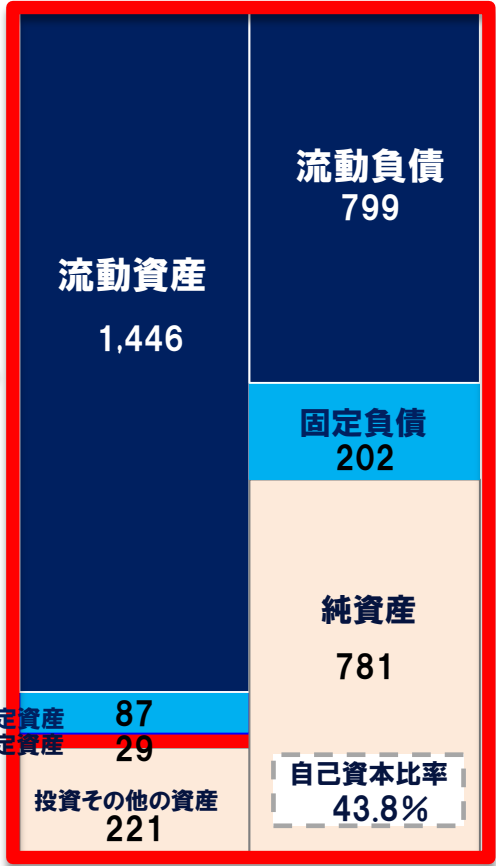
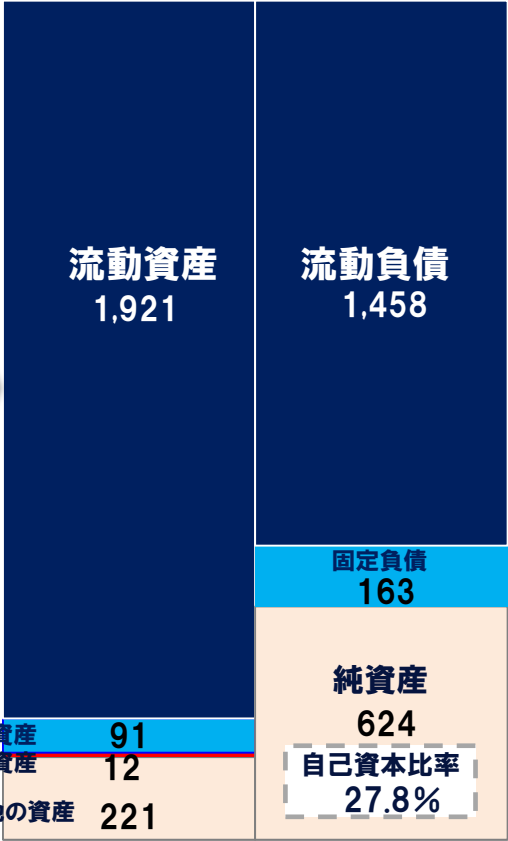
連結財務状況(要約貸借対照表)

(単位:百万円)

平成26年12月末

平成27年12月末

平成28年12月末



増減額	総資産 2,407百万円				総資産 2,246百万円				総資産 1,784百万円		
	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産	流動負債	固定負債	純資産				
	▲475百万円	▲3百万円	16百万円	0百万円	▲659百万円	39百万円	157百万円				

連結キャッシュフローの状況

単位:百万円

	H26年末	H27年末	H28年末
営業キャッシュフロー	76	▲260	124
投資キャッシュフロー	7	▲67	▲16
財務キャッシュフロー	67	▲79	30
現金及び現金同等物	810	403	542

営業CF要因

受注損失引当金減少 ▲554
たな卸資産の減少 656

投資CF要因

固定資産の取得による支出
13

財務CF要因

短期借入金の純増減 ▲76
長期借入金の純増減 101

単体損益計算書要約

単位:百万円

	前期末累計 (売上高比率)	当期末累計 (売上高比率)	対前期比 (増減率)
売上高	3,246 (100%)	3,596 (100%)	350 (10.8%)
売上原価	1,253 (38.6%)	1,532 (42.6%)	279 (22.3%)
売上総利益	1,993 (61.4%)	2,063 (57.4%)	70 (3.6%)
販管費	1,895 (58.4%)	1,934 (53.8%)	39 (2.1%)
営業損益	98 (3.0%)	129 (3.6%)	31 (31.8%)
経常損益	93 (2.9%)	129 (3.6%)	35 (38.3%)
当期純損益	78 (2.4%)	127 (3.5%)	49 (62.7%)
連結1株当たり 純損益	63.79円	103.79円	40円
1株当たり 年間配当額	0.00円	0.00円	-

当期末売上高内訳

【リタイナー】

1,907百万円

(前期比 +3.3%)

【オプション・スポット】

1,470百万円

(前期比 +21.4%)

【ペイドパブ】

219百万円

(前期比 +15.7%)

当期末販管費内訳

【人件費】

1,548百万円

(前期比 +1.3%)

【販売費】

18百万円

(前期比 +143.2%)

【一般管理費】

367百万円

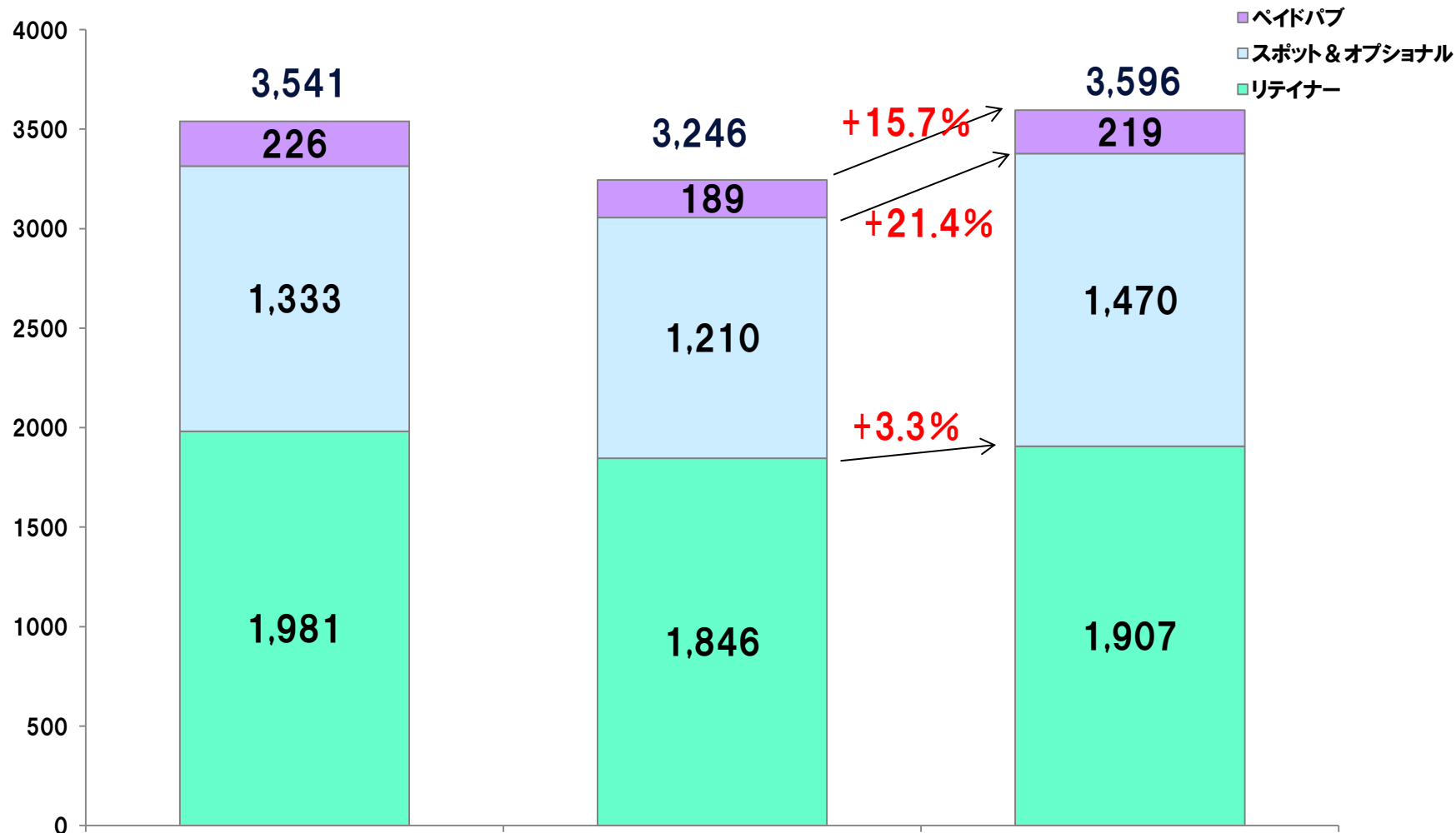
(前期比 +2.4%)

単体サービス区分実績値推移

平成26年12月末

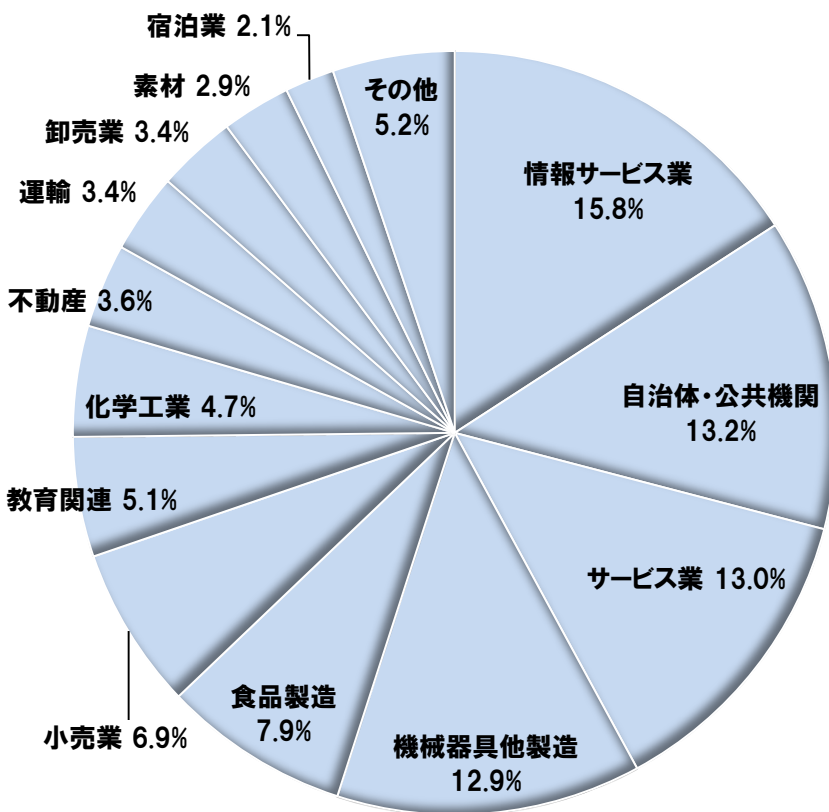
平成27年12月末

平成28年12月末

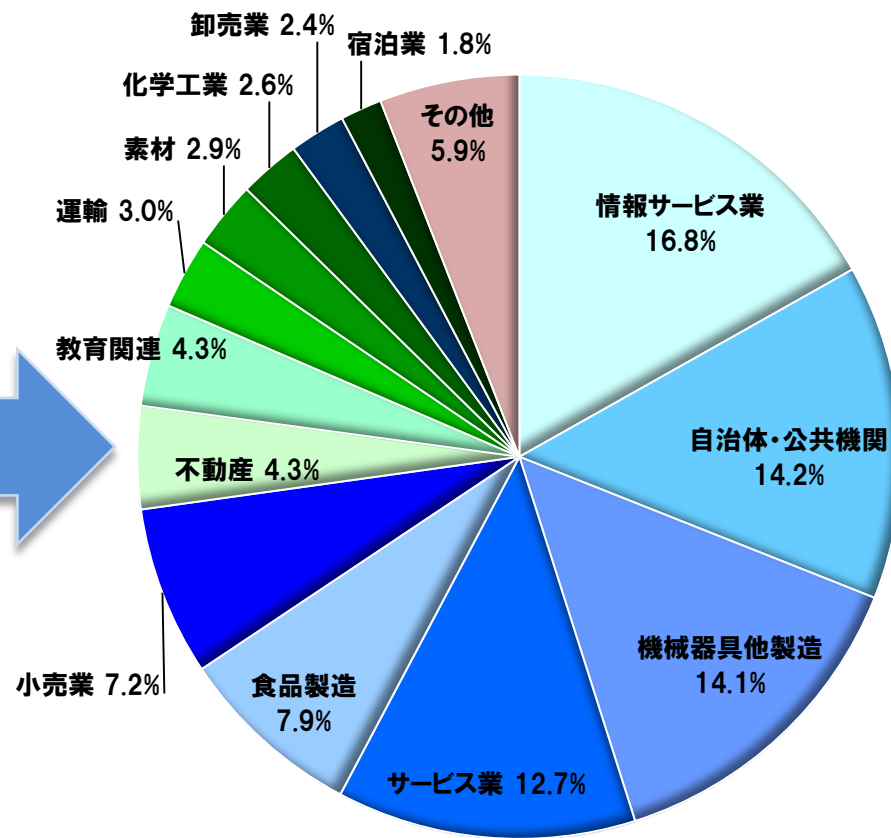


単体業種別売上高構成比（リテイナー）

平成27年12月決算

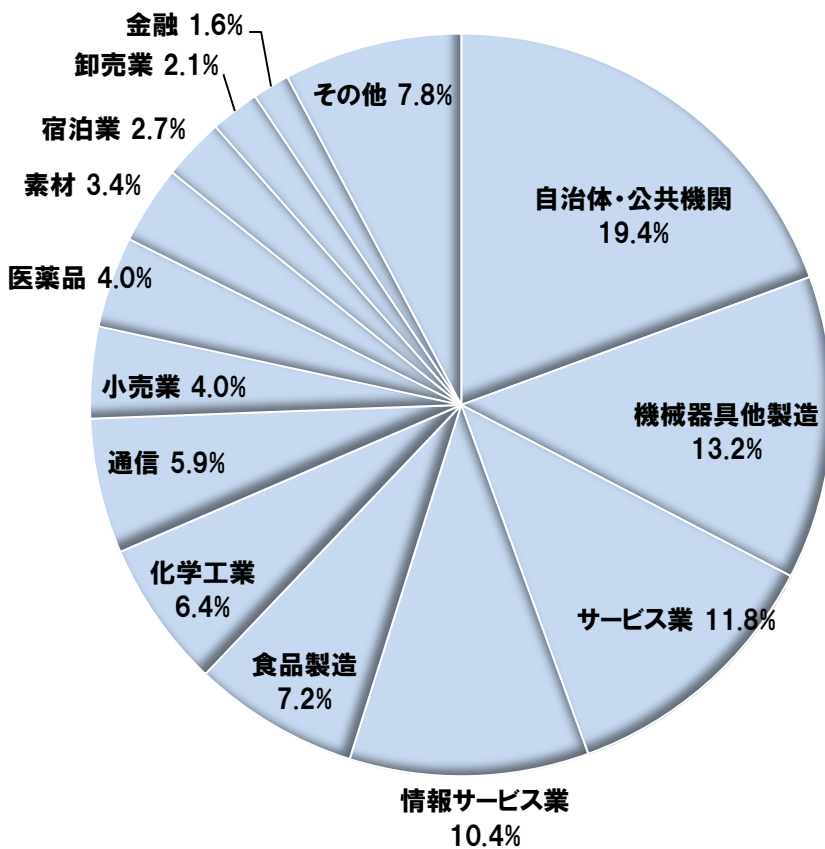


平成28年12月決算

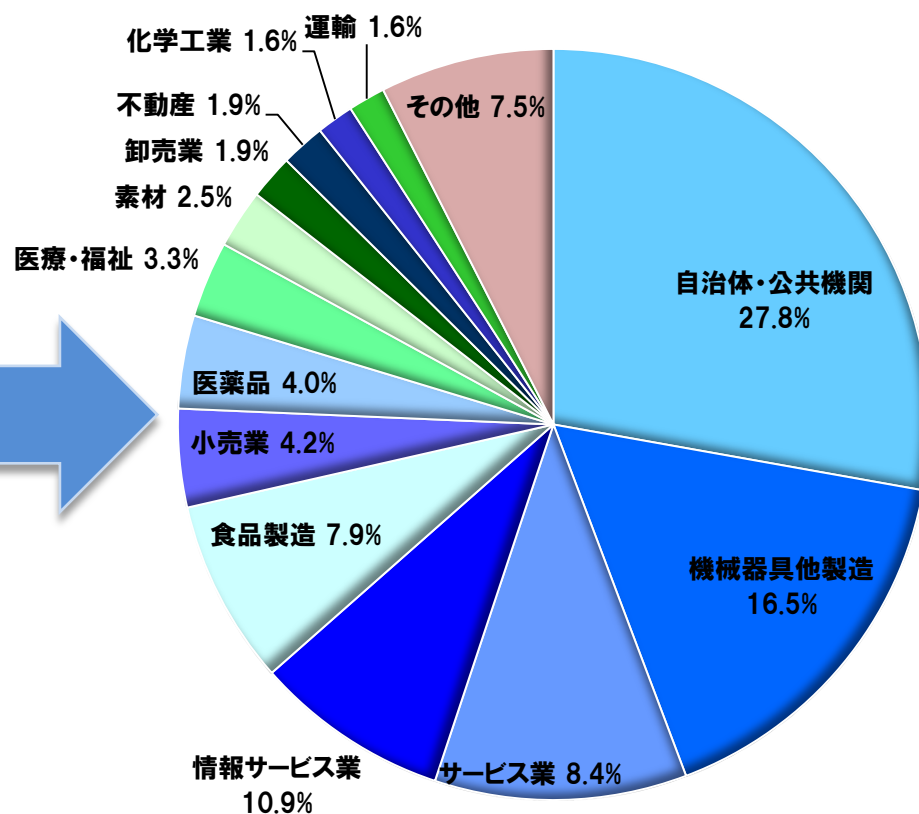


単体業種別売上高構成比（オプション&スポット）

平成27年12月決算



平成28年12月決算



当期のトピックス

This period's topics of activities



Topics 1

日本初上陸！音楽配信最大手Spotifyの広報業務



**海外顧客向けの英文ホームページが契機の場合
100以上のメディア誘致に成功**

Topics2

ふるさとの魅力発信！まるごとにつぽん開業PR



**1年を通じたPR活動により大きく記事化
テレビクライアントに取り上げられる**



Topics3

夏休み映画、正月映画の上位を担当作品が独占！

【2016年夏休み映画洋画興行収入ランキング】

1位 『ファインディング・ドリー』

2位 『ペット』

【2016年冬休み映画洋画興行収入ランキング】

1位 『ファンタスティック・ビースト』

2位 『ローグ・ワン/スター・ウォーズ・ストーリー』

＊文化通信調べ

※年間を通じても洋画ベスト5中

4作品がランクイン

映画業界の年間興行収入高記録に貢献！



(C) Universal Studios. Presented by 東宝東和

今後の経営方針について

Future Corporate Strategy



1. 経営理念の浸透

(1) 経営理念

我々は情熱と創造性で顧客の課題解決を図り、
100年のコミュニケーションをつなぐP Rエージェンシーである。

(2) 経営理念浸透に関わる活動

- ①組織の改編、人財の起用
- ②社員教育の充実
- ③全体集会、記念式典事業などの実施
- ④定期的な社員表彰制度の実施
- ⑤採用活動の強化

2. 営業戦略

（１）成長分野への注力

需要が拡大する専門分野についてプロジェクトチームを発足し営業を強化する。
－大学、自治体、医療、ＩＴ、グローバル企業

（２）販売チャネルの拡大

マーケティングに関連するPR需要を取り込むために広告会社と連携する。
－大手広告会社、新東通信、地域の広告コンソーシアムメイシスの加盟社

（３）新規需要の開拓

新規案件の獲得のために、インバウンドマーケティングを強化する。
－コーポレートサイトのコンテンツ拡充
－見込み客獲得を目的としたセミナー実施

（４）顧客満足度の向上

顧客満足度調査を定期的に行いサービス・クオリティを向上する。

3. 商品戦略

(1) ソーシャルメディアPR

ソーシャルメディア領域のPRサービスを展開

ーソーシャルリスニング、SNSファン育成、ターゲティングPR、SNS運用戦略立案、リスクモニタリングなど

(2) 危機管理プログラム

あらゆるケースを想定したトレーニング・プログラムの商品開発

ー平常時～緊急時、広報担当者～トップ、マスメディア～SNSなど

(3) メディア開発

PRメディア「PR-Today」をリニューアルし商品展開

来期業績予想

単位:百万円

連結	平成28年通期実績(A)	平成29年通期予想(B)	対前期比 (B) - (A)
売上高	4,099	4,127	28
(リタイナー)	2,052	2,216	164
(オプション&スポット)	1,827	1,677	▲150
(ペイドパブリシティ)	219	234	15
売上総利益	2,396	2,461	65
販売費及び一般管理費	2,216	2,244	28
営業利益	180	217	37
経常利益	180	213	33
当期純利益	163	196	33

単位:百万円

単体	平成28年通期実績(A)	平成29年通期予想(B)	対前期比 (B) - (A)
売上高	3,596	3,650	54
(リタイナー)	1,907	2,078	171
(オプション&スポット)	1,470	1,338	▲132
(ペイドパブリシティ)	219	233	14
売上総利益	2,063	2,105	42
販売費及び一般管理費	1,934	1,950	16
営業利益	129	154	25
経常利益	129	151	22
当期純利益	127	129	2

ご清聴ありがとうございました。

Kyodo Public Relations Co., Ltd.

本資料に関するお問い合わせ先

info@kyodo-pr.co.jp

03-3571-5172

経営管理室

本資料の取り扱いについて

- 本資料は弊社の事業及び業界動向について、弊社による平成29年2月28日現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確定要素が内在しております。
- 既に知られた、もしくは未だ知られていないリスク、不確定要素、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。弊社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる場合があります。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて弊社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。